

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	観光振興事業			
予算科目	7 款 1 項 4 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課:	商工観光課	電話番号(内線):	572
記入者情報	所属長:	米湊 誠二	担当責任者:	大谷 基文
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	観光協会・市内観光関連業			
根拠法令等	伊予市観光協会事業費補助金交付要綱			
事業の目的	・観光資源・施設等を活用した観光情報の発信と地域資源を活かした観光振興による地域の経済効果の向上を図る。			
事業の内容	・愛媛県大阪事務所において、伊予市観光物産フェアを開催し、伊予市の物産の販売。・観光パンフレット等を作成し、観光PRに努める。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	あじの郷キャラバン隊と連携して伊予市の観光PRを行う。			
改善策の 具体的 取り組み	観光協会と連携し、観光ボランティアガイドの活動支援を行う。			

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	11,570	4,054	2,000	3,389
	人件費	3,359	3,416	1,708	3,416
	合計	0	7,470	3,708	6,805
人件費 内訳	人工数	0.42	0.42	0.21	0.42
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	3,359	3,416	1,708	3,416
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	1	0	0
	一般財源	14,929	7,469	3,708	6,805

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
観観光物産フェアの入り込み客数	人	3518	3600		3020
観光ボランティアガイド利用者数	人	114	600		574

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
		11,302	5,000	5,000	5,000	

成果指標				
成果指標	観光物産フェアの入込み客数観光ボランティアガイド利用者数			
指標設定の考え方	観光物産フェアの開催により大阪に伊予市をPRする等の観光情報の発信により、伊予市に興味を持ってもらうとともに、観光ボランティアガイドの案内によって、伊予市のファンを増やしていく。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	4000	4000	4000	0
実績	3518	3020	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年、天候の関係もあったが、観光物産フェアの来場者数が、伸び悩んでいる。現在の会場である愛媛県大阪事務所は、オフィス街のため、今後開催場所の変更を検討する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	伊予市観光物産フェアは、大阪事務所での開催も3回を終え、委託先である伊予商工会議所との検証の中で、新たな場所での開催を検討すべきとの意見で一致した。これまでがビジネス街での開催であったために、今後は主婦層や若者層をターゲットとしたショッピング街へ移行することで、客層の変化や新しい地域と対象者への情報発信が可能となり、新たな効果が期待される。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題